

教育・研究業績書

講座名 産科婦人科学		
＜教員の紹介＞		
教授 稲葉 憲之	講師 大島 教子	
教授 深澤 一雄	講師 大津 礼子	
准教授 北澤 正文	講師 香坂 信明	
准教授 坂本 尚徳	講師 西川 正能	
准教授 望月 善子	講師 林 正路	
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1) 学生教育（医学部）	2004年5月～現在	3年生の臨床系統講義、4年生の診断学講義、5年生のBSL、6年生の国家試験対策講義を担当した。また1、2年対象の早期体験学習や医学部入学前の学生等を対象としたオープンキャンパスで、産婦人科診療に興味を持ってもらうような工夫をしながら体験学習授業を分担した。臨床系統講義では学外から各分野のエキスパートを招請しており（婦人科腫瘍、更年期医学など）、基礎のみならずアップデートな話題も盛り込んだ講義を目指した。またBSLでは、病棟・外来実習やクルーズをバランスよく盛り込む事を意識した。また2008年4月よりBSL実習後に学生に実習内容のアンケート調査を行い、学生からの評価を反映させるようにしている。更に以前学生より評価の高かったクリニカルクラークシップ実習を6年生に希望を募って行っている。
2) 教室内教育	2004年5月～現在	定期的に抄読会、学会予行が行われた。
3) 学生教育（大学院）	2004年5月～現在	婦人科腫瘍（卵巣癌、子宮頸癌）周産期感染症（HBV、HCV、HIV）、生殖内分泌領域の各分野で大学院生の研究指導を行い、彼らに学位が授与された。
4) レジデント教育	2004年5月～現在	当大学病院をローテートする初期研修医全員を2ヶ月間ずつ研修指導を行った。また2009年より外部民間病院の後期研修医を受け入れ、主に周産期診療の研修指導も行っている。更に婦人科腫瘍専門医認定指導施設として、専門医を目指す若

5) 看護教育	2004年5月～現在	<p>き医師達の研修指導を行っている。</p> <p>当大学看護学部（2007年4月～）、当院付属看護専門学校、衛生福祉大学校へ教室より講師を派遣した。</p>
6) その他	2004年5月～現在	<p>婦人科がん治療セミナー、栃木県婦人科手術手技研究会、思春期医学懇話会、栃木県更年期研究会、栃木県漢方研究会、周産期研修会を年1回定期的に主催し、地域における生涯教育に積極的に関わっている。</p>
② 作成した教科書、教材、参考書		
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	教授	稲葉 憲之	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1976年4月～現在	日本産科婦人科学会会員（第62回日本産科婦人科学会総会・学術集会会長）		
1987年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2004年4月～2008年	日本エイズ学会理事		
2005年4月～	婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構理事		
	日本婦人科腫瘍学会理事長		
2005年5月～	日本婦人科腫瘍学会暫定指導医		
2005年11月～現在	臨床修練指導医		
2009年4月～現在	日産婦栃木地方部会 部会長		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>稲葉憲之</u> ：19合併症妊娠 A婦人科疾患：標準産科婦人科学 373-383			
2. <u>稲葉憲之</u> ：4. 卵巣、NEW産婦人科学			
3. <u>稲葉憲之</u> ：エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック, 112-113			
4. 大津礼子、 <u>稲葉憲之</u> ：婦人科の痛み、外科全科痛み治療マニュアル第2版, 385-402、三輪書店			
5. 渡辺 博、 <u>稲葉憲之</u> ：性腺、胎盤. 臨床検査診断マニュアル改訂第2版 永井書店:P636-654, 2005			
6. 北澤正文、野口崇夫、星野恵子、中野貴史、河津剛、三ツ矢和弘、深澤一雄、 <u>稲葉憲之</u> ：体外受精（IVF）及び卵細胞質内精子注入（ICSI）における形態不良胚のみの移植の検討：日本受精着床学会誌 22:91-95, 2005			
7. 深澤一雄、坂本尚徳、 <u>稲葉憲之</u> ：F 絨毛性疾患（3）絨毛癌. 新撰産婦人科診療（石塚文平、金山尚裕、鈴木秋悦、安田允 編）pp121-125, 永井書店（大阪）2006			
【原 著】			
欧文			
1. Inaba F, Kawastu T, Masaoka K, Fukasawa I, Watanabe H, <u>Inaba N</u> : Incarceration of the retroverted gravid uterus :the key to successful treatment, Arch Gynecol Obstet, 2004			
2. Inaba F, Kawamata, H Teramoto T, Fukasawa I, <u>Inaba N</u> , Fujimori T : PTEN and p53 abnormalities are indicative and predictive factors for endometrial carcinoma. ONCOLOGY REPORS 13:17-24, 2005			
和文			
1. 西川正能、大島教子、渡辺博、 <u>稲葉憲之</u> ：B型肝炎ウイルス母子感染の予防法の再検討、栃木県医学会会誌、Vol. 34			
2. 稲葉不知之、品川泰弘、山崎龍王、橘昌嗣、川又均、藤盛孝博、深澤一雄、 <u>稲葉憲之</u> ：通常のパラフィン切片からのRNA抽出およびRT-PCRによる遺伝子発現解析、検査と技術:Vol. 32. no12 : 1355-1362, 2004			
3. 白木和夫、大戸斉、 <u>稲葉憲之</u> 、藤澤知雄、田尻仁、神崎晋、松井陽、森島恒雄、戸苅創、木村昭彦、日野茂男：C			

型肝炎ウイルスキャリア妊婦とその出生児の管理ならびに指導方針、日本小児科学会雑誌 109:78-79

4. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之：子宮癌。獨協医学会誌 32：189-196, 2005
5. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、林田志峯、稲葉未知世、和田裕一、喜多恒和、外川正生、塚原優己、名取道也、牛島廣治、戸谷良造、五味淵秀人、尾崎由和、吉野直人、早川 智、田中憲一、熊 曙康：予防と対策「スクリーニング無くして対策無し」HIV MTCT：Prevention and Measures HIV Screening in Pregnant Women Is the First Step to Prevent HIV Mother - to - Child Transmission(MTCT)：The Journal of AIDS Reserch 9 6-10, 2007
6. 高山直秀、庄田亜紀子、岡崎隆行、一戸貞人、齊加志津子、稲葉憲之：妊婦における麻疹中和抗体価、HI抗体価、PA抗体価の相関と各測定法の発症予防レベル：感染症学会誌 81 675-680, 2007
7. 庄田亜紀子、岡崎隆行、高山直秀、稲葉憲之、加藤達夫：妊娠可能年齢の女性における風疹HI抗体価。Progress in Medicine 26：2273-2275, 2006 高山直秀、庄田亜紀子、岡崎隆行、稲葉憲之、加藤達夫：妊娠可能年齢の女性に対する麻疹ワクチン接種の効果：Progress in Medicine 26：1719-1721, 2006
8. 稲葉憲之：周産期におけるHIV感染の現状－厚生省班研究に基づいて：日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌 52 25-29, 2008
9. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、西川正能、林田綾子、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：肝炎ウイルス：産科と婦人科 75 1504-1510, 2008
10. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：わが教室における妊産婦の感染症管理 - とくにB型肝炎ウイルスの母子感染対策について -：The management of infectious diseases at department of OBGY, facultitu of medicine, Dokkyo medical university with special reference to HBV mother-to-child transmission (MTCT) 産婦人科治療 97 509-516, 2008
11. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、熊 曙康、高見澤裕吉：母体ウイルス感染と母乳哺育：産科と婦人科 76 62-66, 2008
12. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、林田志峯、稲葉未知世、和田裕一、喜多恒和、外川正生、塚原優己、名取道也、牛島廣治、戸谷良造、五味淵秀人、早川 智、尾崎由和、吉野直人、田中憲一、熊 曙康：周産期におけるHIV/エイズ、その現状と対策 - 厚生省研究班の成績とともに：臨床婦人科産科 63 151-55, 2009

【症例報告】

和文

1. 久野達也、岡崎隆行、庄田亜紀子、多田和美、西川正能、大島教子、田所望、深澤一雄、渡辺博、稲葉憲之：交通事故により胎盤破裂を来たしDICを併発した一症例、栃木県産婦人科医報 31：28-30
2. 武田信彦、山崎龍王、古野元子、稲葉不知之、亀森哲、香坂信明、坂本尚徳、大田順子、深澤一雄、渡辺博、稲葉憲之：妊婦における子宮頸部細胞診異常の検討、栃木県産婦人科医報 31：22-24, 2004
3. 多田和美、根岸正実、保倉 宏、野口崇夫、西川正能、大島教子、星野恵子、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、根本猛彦、六角 丘、窪田敬一、稲葉憲之：帝王切開後早期に絞扼性イレウスを発症した一症例。栃木県産婦人科医報 31:152-154, 2005

4. Inaba F, Furuno M, Fukasawa I, Inaba N: The diagnosis of intravenous leiomyomatosis of an early stage is difficult: a case report. Indian J Med Sci 60: 422-424, 2006
5. 林田志峯、稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉: HBV母子感染予防対策の比較検討—厚生省方式、千葉大方式、獨協医大方式—: 関東連合地方部会会誌 45 381-84, 2009

【総 説】

和文

1. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、高見澤裕吉: 新生児に対する有効なHBワクチン接種法—HBV母子感染予防における出生時ワクチン接種法—、小児科 45: 1548-1553
2. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、庄田亜紀子: B型・C型肝炎: 産科と婦人科 第71巻 増刊号: 51-55
3. 渡辺博、稲葉憲之: ヘルペスウイルス: 臨床婦人科産科 58: 61-63
4. 渡辺博、稲葉憲之: 周産期感染の管理と対策6 ヘルペスウイルス. 臨床婦人科産科 58:61-63, 2004
5. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、池田綾子、白木和夫: 肝炎ウイルス—とくにB、C型肝炎ウイルスの母子感染対策について—. 産科と婦人科 8: 980-985, 2005
6. 塚原優己、喜多恒和、和田裕一、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之: H I V. 産科と婦人科 8: 987-993, 2005
7. 稲葉憲之: 第2回 大学病院は今 北関東の心臓部として県医師会と緊密な連携を図る「北関東のメディカルセンターを目指して」. JAMIC JORNAL 4月号: 24-25, 2005
8. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、池田綾子、白木和夫: 肝炎ウイルスと母子感染対策—とくにB、C型肝炎ウイルスについて—. 産婦人科治療 90:149-155, 2005
9. 稲葉憲之: B型肝炎ウイルス母子感染予防の見直し. 栃木県医学会会誌 35:81-85, 2005
10. 渡辺 博、西川正能、稲葉憲之: 感染症合併妊娠1) ウイルス性肝炎. 産科と婦人科 72: 1537-1541
11. 渡辺 博、稲葉憲之: 診療の基本 医療者間、患者とのコミュニケーション、チーム医療: 日本産科婦人科学会専門医制度 研修コーナー 57: 493-497
12. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、池田綾子、高見澤裕吉、白木和夫: 周産期と肝炎ウイルス—特にB型、C型肝炎ウイルスについて—. 日本医事新報 4273号:21-27, 2006
13. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、庄田亜紀子、岡崎隆行、根岸正実、深澤一雄、渡辺博: 母子感染のスクリーニング 2) 肝炎ウイルス (HBV, HCV). 産婦人科の実際 55: 1694-1700, 2006
14. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之: 外来化学療法の実況—その問題点を中心に—. 化療ニュース 15:1-2, 2006
15. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博: B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの母子感染とその対策: 産婦人科治療 95 43-49, 2007
16. 林田志峯、稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、高見澤裕吉: 感染症検査: 周産期医学 37 209-213, 2007
17. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、稲葉未知世、根岸正実、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉不知之、多田和美、田所 望、渡辺 博、熊 曙康: B型肝炎、C型肝炎ウイルス—産科医の立場から—: 周産期医学 37 1539-1543, 2007
18. 渡辺 博、西川正能、根岸正実、稲葉憲之: C型肝炎ウイルスキャリアの妊娠 JIM 18 238-240, 2008
19. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之: 婦人科疾患とPET : 産婦人科治療 96 882 - 888, 2008

20. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之：Gynecologic Cancer 婦人科がん 婦人科がん治療ガイドライン策定の背景と今後の動向：Ⅱ．子宮頸癌再発の治療 癌と化学療法 36 209-214, 2008
21. 香坂信明、深澤一雄、稲葉憲之：腔式卵巣嚢腫核出術、子宮筋腫核出術のアプローチ：産科と婦人科 76 333-334, 2009

【その他】

和文

1. 稲葉憲之、大島教子：経済的、省力的およびバイオハザードが少ないB型肝炎ウイルス（HBV）垂直感染予防法、FIGO Report :4, 2003
2. 稲葉憲之、朱坤：中国の産婦人科の現状、日中医学 19 : 13-16
3. 稲葉憲之：獨協医科大学医師会長に就任して、栃医新聞 7-8 : 6. 5, 2004
4. 稲葉憲之：新病院長の挨拶、栃木県獨協医科大学医学生会報 10月号 : 2004
5. 稲葉憲之：「センター化」で利便性と効率運営を目指す、TKC医業経営情報 117 : 10-13, 2004
6. 稲葉憲之：大学病院の現状と展望．桜杏会だより 第 55 号
7. 稲葉憲之：研究スポット「B型肝炎の母子感染」．中日新聞 4. 22, 2005
8. 稲葉憲之：HCV母子感染率の上昇傾向を再確認． Medical Tribune 4. 28, 2005
9. 稲葉憲之：B型肝炎ウイルスの母子感染－予防法の見直し－．教育医事新聞, 2005
10. 稲葉憲之：B型肝炎ウイルスの母子感染－新たな予防提唱－．教育医事新聞（3月25日）：14, 2005
11. 稲葉憲之：B型肝炎ウイルス母子感染予防法見直しの動き - 新稲葉方式 - ．教育医事新聞 11. 25, 2006
12. 稲葉憲之：妊婦のHIVじわり増加－厚生労働省研究班調査 - ．日本経済新聞、西日本新聞、南日本新聞、四国新聞、山口新聞 12. 5, 2006
13. 稲葉憲之：帝王切開＋抗ウイルス剤 HIV母子感染率 2～3割→0.6%に．読売新聞 12. 6, 2006
14. 稲葉憲之：HIV母子感染 陣痛前処置で防止 - 厚労省調査 - 帝王切開など有効．高知新聞 12. 21, 2006
15. 稲葉憲之：母子感染の防止可能 - 厚労省全国調査 適切対策でゼロに．宮崎日日新聞 12. 22, 2006
16. 稲葉憲之：妊婦のHIV検査実施率 本県全国最低 56%．宮崎日日新聞 2. 11, 2006
17. 稲葉憲之 『医療崩壊を如何に防ぐか』 - 産科医療対策を中心に - : 医学振興 66 2-3, 2008
18. 稲葉憲之 「HIV母子感染防止へ研究会 佐世保で専門から訴え」：読売新聞（長崎地域版）2. 2, 2009

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	教授	深澤 一雄	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1983年4月～現在	日本産科婦人科学会員		
1989年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2005年11月～現在	臨床修練指導医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 深澤一雄、香坂信明、稲葉憲之：EMA/CO療法			
2. 深澤一雄、坂本尚徳、稲葉憲之：F 絨毛性疾患（3）絨毛癌．新撰産婦人科診療（石塚文平、金山尚裕、鈴木秋悦、安田允 編）pp121-125，永井書店（大阪）2006			
【原 著】			
欧文			
1. Inaba F, Kawastu T, Masaoka K, <u>Fukasawa I</u> , Watanabe H, Inaba N: Incarceration of the retroverted gravid uterus :the key to successful treatment, Arch Gynecol Obstet, 2004			
2. Zhu K, <u>Fukasawa I</u> , Furuno M, Inaba F, Yamazaki T, Kamemori T, Kosaka N, Ota Y, Hayashi M, Maehama T, Inaba N: Inhibitory effects of herbal drugs on the growth of human ovarian cancer cell lines through The induction of apoptosis. Gynecologic Oncology 97: 405-409, 2005			
3. Zhu K, <u>Fukasawa I</u> , Fujinoki M, Furuno M, Inaba F, Yamazaki T, Kamemori T, Kousaka N, Ota Y, Hayashi M, Maehama T, Inaba N: Profiling of proteins associated with cisplatin-resistance in ovarian cancer cells. Int J Gynecol Cancer 15:747-754, 2005			
4. Inaba F, Kawamata, H Teramoto T, <u>Fukasawa I</u> , Inaba N, Fujimori T: PTEN and p53 abnormalities are indicative and predictive factors for endometrial carcinoma. ONCOLOGY REPORS 13:17-24, 2005			
5. Inaba F, Kawatsu T, Masaoka K, <u>Fukasawa I</u> , Watanabe H, Inaba N: Incarceration of the retroverted gravid uterus: the key to successful treatment. Arch Gynecol Obstet : 18, 2005			
6. Yamazaki T, Inaba F, Takada N, Furuno M, Kamemori T, Kosaka N, Ota Y, <u>Fukasawa I</u> , Inaba N: A study of abnormal cervical cytology in pregnant women. Arch Gynecol Obstet: 1-4, 2005			
和文			
1. 朱坤、 <u>深澤一雄</u> 、古野元子、稲葉不知之、山崎龍王、亀森哲、香坂信明、大島教子、太田順子、稲葉憲之：卵巣癌培養細胞株に対する小紫胡湯の増殖抑制作用、産婦人科漢方研究のあゆみ 21：90-93			
2. 朱坤、 <u>深澤一雄</u> 、亀森哲、古野元子、稲葉不知之、山崎龍王、香坂信明、太田順子、稲葉憲之：卵巣癌培養細胞			

株に対する小柴胡湯の増殖抑制作用、Dokkyo Journal of Medical Sciences、31:175, 2004

3. 稲葉不知之、品川泰弘、山崎龍王、橘昌嗣、川又均、藤盛孝博、深澤一雄、稲葉憲之：通常のパラフィン切片からのRNA抽出およびRT-PCRによる遺伝子発現解析、検査と技術:Vol. 32. no12 : 1355-1362, 2004
4. 安田真一、深澤一雄、稲葉憲之：卵巣癌のリンパ節転移に関連遺伝子の検索. Cancer Science 95 : Suppl271, 2004
5. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之：子宮癌. 獨協医学会誌 32 : 189-196, 2005
6. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、西川正能、林田綾子、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：肝炎ウイルス : 産科と婦人科 75: 1504-1510, 2008
7. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：わが教室における妊産婦の感染症管理 - とくにB型肝炎ウイルスの母子感染対策について - The management of infectious diseases at department of OBGY, facultu of medicine, Dokkyo medical university with special reference to HBV mother-to-child transmission (MTCT) 産婦人科治療 97:509-516, 2008
8. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、熊 曙康、高見澤裕吉：母体ウイルス感染と母乳哺育 産科と婦人科 76:62-66, 2008

【症例報告】

欧文

1. Inaba F, Furuno M, Fukasawa I, Inaba N: The diagnosis of intravenous leiomyomatosis of an early stage is difficult: a case report. Indian J Med Sci 60: 422-424, 2006

和文

1. 久野達也、岡崎隆行、庄田亜紀子、多田和美、西川正能、大島教子、田所望、深澤一雄、渡辺博、稲葉憲之：，交通事故により胎盤破裂を来しDICを併発した一症例、栃木県産婦人科医報 31 : 28-30. 2004
2. 武田信彦、山崎龍王、古野元子、稲葉不知之、亀森哲、香坂信明、坂本尚徳、大田順子、深澤一雄、渡辺博、稲葉憲之：妊婦における子宮頸部細胞診異常の検討、栃木県産婦人科医報 31, 22-24. 2004
3. 多田和美、根岸正実、保倉 宏、野口崇夫、西川正能、大島教子、星野恵子、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、根本猛彦、六角 丘、窪田敬一、稲葉憲之：帝王切開後早期に絞扼性イレウスを発症した一症例. 栃木県産婦人科医報 31:152-154, 2005
4. 北澤正文、深澤一雄、太田順子、香坂信明、野口崇夫、稲葉憲之：偶発的に発見された子宮内膜症に合併したMesothelial hyperplasiaの1例. エンドメトリオーシス研究会会誌 27 : 115-118, 2006
5. 北澤正文、岡崎隆行、野口崇夫、三ツ矢和弘、香坂信明、深澤一雄、稲葉憲之：当科における腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術の経験. 栃木県産婦人科医報 33: 7-10, 2006
6. 林田志峯、稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：HBV母子感染予防対策の比較検討—厚生省方式、千葉大方式、獨協医大方式—：関東連合地方部会会誌 45:381-384, 2009

【総 説】

和文

1. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、庄田亜紀子、岡崎隆行、根岸正実、深澤一雄、渡辺博：母子感染のスクリーニング 2) 肝炎ウイルス (HBV, HCV) .産婦人科の実際 55 : 1694-1700, 2006
2. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之：外来化学療法の現状-その問題点を中心に-. 化療ニュース 15:1-2, 2006
3. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博：B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの母子感染とその対策：産婦人科治療 95:43-49, 2007
4. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之：婦人科疾患とPET : 産婦人科治療 96:882 - 888, 2008
5. 坂本尚徳、深澤一雄、稲葉憲之：Gynecologic Cancer 婦人科がん 婦人科がん治療ガイドライン策定の背景と今後の動向：Ⅱ. 子宮頸癌再発の治療 癌と化学療法 36:209-214, 2008
6. 香坂信明、深澤一雄、稲葉憲之：膣式卵巣嚢腫核出術、子宮筋腫核出術のアプローチ：産科と婦人科 76: 333-334, 2009

【その他】

和文

1. 深澤一雄：教授就任のご挨拶：栃木県産婦人科医報 32:4, 2005
2. 深澤一雄：健康相談室：子宮脱. 婦人画報 p328 世界文化社（東京）7, 2006
3. 深澤一雄：子宮頸がんは予防できますー自己採取法によるがん検診のすすめー：獨協医科大学病院だより 第14号 p3-5, 2006

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	准教授	北澤 正文	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1981年4月～現在	日本産科婦人科学会会員		
1987年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2005年11月～現在	臨床修練指導医		
2007年4月～現在	日本生殖医学会生殖医療指導医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>北澤正文</u> 、野口崇夫、星野恵子、中野貴史、河津剛、三ツ矢和弘、深澤一雄、稲葉憲之：体外受精（IVF）及び卵細胞質内精子注入（ICSI）における形態不良胚のみの移植の検討：日本受精着床学会誌 22:91-95, 2005			
【原 著】			
和文			
1. <u>北澤正文</u> 、中野貴史、河津剛、星野恵子、野口崇夫、三ツ矢和弘、深澤一雄、稲葉憲之：卵管留水腫と体外受精－卵管留水腫摘出の有用性－、日本受精着床学会雑誌 21：112-117			
2. <u>正文</u> 、野口崇夫、中野貴史、河津 剛、星野恵子、三ツ矢和弘、深澤一雄、稲葉憲之：当院における生殖補助医療の技術の変遷と成績.産婦人科の実際 55：719-723, 2006			
3. <u>北澤正文</u> 、太田順子、野口崇夫、星野恵子、中野貴史、武田信彦、久野達也、三ツ矢和弘、深澤一雄、稲葉憲之：過去5年間の当科における配偶者間人工授精（AIH）の成績.日本受精着床学会雑誌 23：222-226, 2006			
【症例報告】			
和文			
1. <u>北澤正文</u> 、深澤一雄、太田順子、香坂信明、野口崇夫、稲葉憲之：偶発的に発見された子宮内膜症に合併した Mesothelial hyperplasia の1例. エンドメトリオーシス研究会会誌 27：115-118, 2006			
2. <u>北澤正文</u> 、岡崎隆行、野口崇夫、三ツ矢和弘、香坂信明、深澤一雄、稲葉憲之：当科における腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術の経験. 栃木県産婦人科医報 33：7-10, 2006			
【総 説】			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	准教授	坂本 尚徳	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1984年4月～現在	日本産科婦人科学会員		
1989年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2005年11月～現在	臨床修練指導医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 深澤一雄、 <u>坂本尚徳</u> 、稲葉憲之：F 絨毛性疾患（3）絨毛癌．新撰産婦人科診療（石塚文平、金山尚裕、鈴木秋悦、安田允 編）pp121-125, 永井書店（大阪）2006			
【原 著】			
和文			
1. <u>坂本尚徳</u> 、深澤一雄、稲葉憲之：子宮癌．獨協医学会誌 32：189-196, 2005			
【症例報告】			
和文			
1. 武田信彦，山崎龍王，古野元子，稲葉不知之，亀森哲，香坂信明， <u>坂本尚徳</u> ，大田順子，深澤一雄，渡辺博，稲葉憲之：妊婦における子宮頸部細胞診異常の検討，栃木県産婦人科医報 31:22-24, 2004			
【総 説】			
和文			
1. <u>坂本尚徳</u> ，深澤一雄，稲葉憲之：外来化学療法の実況-その問題点を中心に-．化療ニュース 15:1-2, 2006			
2. <u>坂本尚徳</u> ，深澤一雄，稲葉憲之：婦人科疾患とPET : 産婦人科治療 96 882 - 888, 2008			
3. <u>坂本尚徳</u> ，深澤一雄，稲葉憲之：Gynecologic Cancer 婦人科がん 婦人科がん治療ガイドライン策定の背景と今後の動向Ⅱ．子宮頸癌再発の治療 癌と化学療法 36 209-214, 2008			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	准教授	望月 善子	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1984年4月～現在	日本産科婦人科学会		
1989年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2001年4月～現在	日本更年期医学会 評議員		
2001年5月～現在	日本女性心身医学会 評議員		
2003年4月～現在	日本更年期医学会 幹事		
2005年4月～現在	日本骨粗鬆症学会 評議員		
2008年4月～現在	日本更年期医医学会認定医		
2008年4月～現在	栃木県医師会勤務医部会功労環境調査委員会 委員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 渡辺博、 <u>藤田善子</u> ：更年期障害. 改訂第2版 薬の処方ハンドブック（奈良信雄編）pp521-522, 羊土社, 2004.			
2. <u>望月善子</u> ：更年期女性の骨量減少症をいかにして見いだすか. 更年期医療のコツと落とし穴 麻生武志編 中山書店: p 58-59, 2005.			
3. <u>望月善子</u> ：望ましいホルモン補充療法を考える. 更年期医療のコツと落とし穴 麻生武志編 中山書店: p 98-99, 2005.			
【原 著】			
欧文			
1. Oishi A, Ohmichi M, Takahashi K, Takahashi T, Mori A, Kawagoe J, Otsu R, <u>Mochizuki Y</u> , Inaba N, Kurachi H: Medroxyprogesterone acetate attenuates estrogen-induced nitric oxide production in human umbilical vein endothelial cells、BBRC 324: 193-198, 2004.			
2. Ohashi T, Miura T, Igarashi Y, Kiyokawa I, <u>Mochizuki Y</u> , Sato Y, Sasagawa K, Katagiri K, Tomonaga T, Nomura F, Kojima R, Katayama K: Development and characterization of novel monoclonal antibodies against tartrate-resistant acid phosphatase 5. Hybridoma: 25: 358-66, 2006.			
3. Oishi A, <u>Mochizuki Y</u> , Otsu, Inaba N: Pilot study of flucoxamine treatment for climacteric symptoms in Japanese women: Bio Psychosocial Medicine: 12, 2007.			
4. Ohashi T, Igarashi Y, <u>Mochizuki Y</u> , Miura T, Inaba N, Katayama K, Tomonaga T, Nomura F, Development of a novel fragments absorbed immunocapture enzyme assay system for tartrate-resistant acid phosphatase 5b. Clin Chim Acta 376: 205-212, 2007.			
和文			
1. <u>望月善子</u> 、渡辺博、大石曜、大津礼子、稲葉憲之：当院における10代妊娠の臨床統計. 思春期学 22: 404-409, 2004.			

2. 望月善子、大石曜、大津礼子、稲葉憲之：ターナー症候群における骨量とホルモン補充療法の効果、第14回栃木県骨カルシウム代謝研究会誌、4-5, 2004.
3. 三浦俊英、五十嵐吉彦、大橋建也、野村文夫、朝長毅、伊藤和枝、望月善子、稲葉憲之、松崎茂、片山勝博：新規破骨細胞由来酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ（TRACP 5b）活性免疫測定キットの開発とその基礎検討、Osteoporosis Japan12：42-45
4. 大石曜、望月善子、渡辺礼子、稲葉憲之：骨量減少症および骨粗鬆症に対するビスフォスフォネート製剤の骨量増加作用に関する検討、Osteoporosis Japan 12：316-317, 2004.
5. 三浦俊英、五十嵐吉彦、大橋建也、野村文夫、朝長毅、伊藤和枝、望月善子、稲葉憲之、松崎茂、片山勝博：新規破骨細胞由来酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ（TRACP 5b）活性免疫測定キットの開発とその基礎検討、Osteoporosis Japan 12:264-267, 2004.
6. 望月善子 西沢良記 大石曜 大津礼子 三浦俊英 五十嵐吉彦 稲葉憲之：新規に開発された血中酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ骨型アインザイム（TRAP-5b）測定キット オステオリンクス「TRAP-5b」による日内及び日間変動と最小有意変化の検討. 医学と薬学 54：895-902, 2005.
7. 西沢良記 稲葉雅章 石井光一 山下弘幸 三木隆己 後藤仁志 山田真介 茶木修 望月善子：新規に開発された血中骨型特異的の酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ（TRACP-5b）測定の検討：医学と薬学 54：709-717, 2005
8. 望月善子：更年期医療の現場で医師の果たすべき役割について：日更会誌 14:126-130, 2006.
9. 望月善子、大石曜、大津礼子、稲葉憲之：ビスフォスホネート治療時における骨代謝マーカー測定の有用性について。栃木県骨カルシウム代謝研究会誌:10-11, 2006.
10. 望月善子、大石曜：塩酸ラロキシフェン治療における新規骨吸収マーカー血清TRACP-5b測定の有用性。SERM 2：62-63, 2006.
11. 大石曜、望月善子、大津礼子、稲葉憲之：ビスフォスフォネート製剤による骨粗鬆症治療時の骨量増加効果と骨代謝マーカーの変動に関する検討。Osteoporosis Japan 14:57-58, 2006.

【症例報告】

【総 説】

和文

1. 望月善子、稲葉憲之：肥満と高血圧. 助産雑誌 59：804-808, 2005.
2. 望月善子：10代妊娠の現状と問題点. 産婦人科治療 91:496-501
3. 望月善子、大石曜、大津礼子、稲葉憲之：続発性無月経を有する思春期女性の骨量管理：第15回栃木県骨カルシウム代謝研究会誌 8-9, 2005.
4. 望月善子：病期と薬の説明ガイド2006「更年期障害」. 薬局 57：1112-1121, 2006.
5. 望月善子：酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ. CLINICAL CALCIUM 16：64-71, 2006.
6. 望月善子：病気と薬の説明ガイド2006 更年期障害. 薬局 57：599-609, 2006.
7. 望月善子、大石曜、稲葉憲之：WHI報告とホルモン補充療法. 産婦人科治療 93:380-385, 2006.
8. 望月善子 ホルモン補充療法を希望する子宮筋腫をもつ閉経後婦人です：臨床婦人科産科 61:505-507, 2007.
9. 望月善子 更年期障害に対してホルモン補充療法を行った患者です。不正出血がみられるといいます：臨床婦人科産科 61:501-503, 2007.

10. 望月善子 閉経後に骨量低下、骨粗鬆症を認める患者です：臨床婦人科産科 61: 509-511, 2007.

【その他】

和文

1. 望月善子:平成 15 年度「男女共同参画社会の実現をめざして」、中高年女性のヘルスケア (鹿沼市市民生活部 人権女性課編) : pp66-72, 2004.
2. 望月善子: より有効で、より安全なHRTを目指して: メディカルトリビューン 37: 6, 2004.
3. 望月善子: 健やかに美しく一産婦人科の元気処方箋「不正出血」: 下野新聞アスポ: 10. 13, 2004.
4. 望月善子: 健やかに美しく一産婦人科の元気処方箋「中間期出血」: 下野新聞アスポ: 10. 27, 2004.
5. 望月善子: 健やかに美しく一産婦人科の元気処方箋「子宮頸管ポリープ」: 下野新聞アスポ: 11. 10, 2004.
6. 望月善子: 健やかに美しく一産婦人科の元気処方箋「子宮筋腫」: 下野新聞アスポ: 11. 24, 2004.
7. 望月善子: 健やかに美しく一産婦人科の元気処方箋「思春期Ⅰ」: 下野新聞アスポ: 12. 8, 2004.
8. 望月善子: 健やかに美しく一産婦人科の元気処方箋「思春期Ⅱ」: 下野新聞アスポ: 12. 22, 2004.
9. 望月善子: 骨粗鬆症治療の現状とラロキシフェン治療の実際. Medical Tribune 10月26日号
10. 望月善子: 健やかに美しく一産婦人科の元気処方箋. 下野新聞アスポ連載 (平成 16 年 10 月～平成 18 年 9 月末)

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	講師	大島 教子	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1990年4月～現在	日本産科婦人科学会員		
1995年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2005年11月～現在	臨床修練指導医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Sachdeva N, Yoon S, Oshima K, Garcia D, Goodkin K, Asthana D: Biochip Array-based Analysis of Plasma Cytokines in HIV Patients with Immunological and Virological Discordance : Scandinavian J Immunology 1-6, 2007			
和文			
1. 朱坤、深澤一雄、古野元子、稲葉不知之、山崎龍王、亀森哲、香坂信明、 <u>大島教子</u> 、太田順子、稲葉憲之：卵巣癌培養細胞株に対する小紫胡湯の増殖抑制作用、産婦人科漢方研究のあゆみ 21：90-93			
2. 西川正能、 <u>大島教子</u> 、渡辺博、稲葉憲之：B型肝炎ウイルス母子感染の予防法の再検討、栃木県医学会会誌、Vol. 34			
3. 稲葉憲之、 <u>大島教子</u> 、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、林田志峯、稲葉未知世、和田裕一、喜多恒和、外川正生、塚原優己、名取道也、牛島廣治、戸谷良造、五味淵秀人、尾崎由和、吉野直人、早川 智、田中憲一、熊 曙康：予防と対策「スクリーニング無くして対策無し」HIV MTCT：Prevention and Measures HIV Screening in Pregnant Women Is the First Step to Prevent HIV Mother - to - Child Transmission(MTCT)：The Journal of AIDS Reserch9:6-10, 2007			
4. 稲葉憲之、 <u>大島教子</u> 、林田志峯、西川正能、林田綾子、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：肝炎ウイルス：産科と婦人科 75 1504-1510, 2008			
5. 渡辺 博、多田和美、 <u>大島教子</u> 、稲葉憲之：臍帯の構造異常：周産期医学 38：1129-1132, 2008			
6. 稲葉憲之、 <u>大島教子</u> 、林田志峯、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：わが教室における妊産婦の感染症管理 - とくにB型肝炎ウイルスの母子感染対策について - The management of infectious diseases at department of OBGY, facultitu of medicine, Dokkyo medical university with special reference to HBV mother-to-child transmission (MTCT) 産婦人科治療 97：509-516, 2008			
7. 稲葉憲之、 <u>大島教子</u> 、林田志峯、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、熊 曙康、高見澤裕吉：母体ウイルス感染と母乳哺育 産科と婦人科			

76:62-66, 2008

8. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、熊 曙康、高見澤裕吉：母体ウイルス感染と母乳哺育：産科と婦人科 76：62-66, 2009
9. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、林田志峯、稲葉未知世、和田裕一、喜多恒和、外川正生、塚原優己、名取道也、牛島廣治、戸谷良造、五味淵秀人、早川 智、尾崎由和、吉野直人、田中憲一、熊 曙康：周産期におけるHIV/エイズ、その現状と対策 - 厚生省研究班の成績とともに：臨床婦人科産科 63:151-55, 2009

【症例報告】

和文

1. 久野達也、岡崎隆行、庄田亜紀子、多田和美、西川正能、大島教子、田所望、深澤一雄、渡辺博、稲葉憲之：，交通事故により胎盤破裂を来しDICを併発した一症例、栃木県産婦人科医報 31：28-30
2. 多田和美、根岸正実、保倉 宏、野口崇夫、西川正能、大島教子、星野恵子、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、根本猛彦、六角 丘、窪田敬一、稲葉憲之：帝王切開後早期に絞扼性イレウスを発症した一症例. 栃木県産婦人科医報 31:152-154, 2005
3. 林田志峯、稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：HBV母子感染予防対策の比較検討—厚生省方式、千葉大方式、獨協医大方式—関東連合地方部会会誌 45：381-384, 2009

【総 説】

和文

1. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、高見澤裕吉：新生児に対する有効なHBワクチン接種法—HBV母子感染予防における出生時ワクチン接種法—、小児科 45：1548-1553
2. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、庄田亜紀子：B型・C型肝炎：産科と婦人科 第71巻 増刊号：51-55
3. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、池田綾子、白木和夫：肝炎ウイルス—とくにB、C型肝炎ウイルスの母子感染対策について—、産科と婦人科 8：980-985, 2005
4. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、池田綾子、高見澤裕吉、白木和夫：周産期と肝炎ウイルス—特にB型、C型肝炎ウイルスについて—、日本医事新報 4273号:21-27, 2006
5. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、庄田亜紀子、岡崎隆行、根岸正実、深澤一雄、渡辺博：母子感染のスクリーニング 2) 肝炎ウイルス (HBV, HCV) . 産婦人科の実際 55：1694-1700, 2006
6. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博：B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの母子感染とその対策：産婦人科治療 95：43-49, 2007
7. 林田志峯、稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、高見澤裕吉：感染症検査：周産期医学 37：209-213, 2007
8. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、稲葉未知世、根岸正実、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉不知之、多田和美、田所 望、渡辺 博、熊 曙康：B型肝炎、C型肝炎ウイルス—産科医の立場から—：周産期医学 37：1539-1543, 2007

【その他】

和文

1. 稲葉憲之、大島教子：経済的、省力的およびバイオハザードが少ないB型肝炎ウイルス（HBV）垂直感染予防法、FIGO Report：4, 2003
2. 大島教子：肝炎ウイルスの母子感染—特にB, C型肝炎ウイルスについて—、第21回日本産婦人科感染症研究会学術講演会記録集：27-29, 2004

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	講師	大津 礼子	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1985年4月～現在	日本産科婦人科学会員		
1993年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2005年11月～現在	臨床修練指導医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>大津礼子</u> 、稲葉憲之：婦人科の痛み、外科全科痛み治療マニュアル第2版, 385-402、三輪書店			
【原 著】			
欧文			
1. Oishi A, Ohmichi M, Takahashi K, Takahashi T, Mori A, Kawagoe J, <u>Otsu R</u> , Mochizuki Y, Inaba N, Kurachi H: Medroxyprogesterone acetate attenuates estrogen-induced nitric oxide production in human umbilical vein endothelial cells, BBRC 324: 193-198, 2004			
2. Oishi A, Mochizuki Y, <u>Otsu R</u> , Inaba N: Pilot study of flucoxamine treatment for climacteric symptoms in Japanese women: Bio Psychosocial Medicine:12, 2007			
和文			
1. 望月善子、渡辺博、大石曜、 <u>大津礼子</u> 、稲葉憲之：当院における10代妊娠の臨床統計. 思春期学 22:404-409, 2004			
2. 望月善子、大石曜、 <u>大津礼子</u> 、稲葉憲之：ターナー症候群における骨量とホルモン補充療法の効果、第14回栃木県骨カルシウム代謝研究会誌、4-5, 2004			
3. 大石曜、望月善子、 <u>渡辺礼子</u> 、稲葉憲之：骨量減少症および骨粗鬆症に対するビスフォスフォネート製剤の骨量増加作用に関する検討、Osteoporosis Japan 12: 316-317, 2004			
4. 望月善子 西沢良記 大石曜 <u>大津礼子</u> 三浦俊英 五十嵐吉彦 稲葉憲之:新規に開発された血中酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ骨型アイソザイム (TRAP-5b) 測定キット オステオリンクス「TRAP-5b」による日内及び日間変動と最小有意変化の検討. 医学と薬学 54: 895-902, 2005			
5. 望月善子、大石曜、 <u>大津礼子</u> 、稲葉憲之：ビスフォスホネート治療時における骨代謝マーカー測定の有用性について. 栃木県骨カルシウム代謝研究会誌 10-11, 2006			
6. 大石曜、望月善子、 <u>大津礼子</u> 、稲葉憲之：ビスフォスフォネート製剤による骨粗鬆症治療時の骨量増加効果と骨代謝マーカーの変動に関する検討. Osteoporosis Japan 14:57-58, 2006			
【症例報告】			
【総 説】			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	講師	香坂 信明	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1993年4月 ～ 現在	日本産科婦人科学会会員		
1998年10月 ～ 現在	日本産科婦人科学会専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 深澤一雄、 <u>香坂信明</u> 、稲葉憲之：EMA/CO療法 2004			
【原 著】			
欧文			
1. Zhu K, Fukasawa I, Furuno M, Inaba F, Yamazaki T, Kamemori T, <u>Kosaka N</u> , Ota Y, Hayashi M, Maehama T, Inaba N: Inhibitory effects of herbal drugs on the growth of human ovarian cancer cell lines through The induction of apoptosis. Gynecologic Oncology 97: 405-409, 2005			
2. Zhu K, Fukasawa I, Fujinoki M, Furuno M, Inaba F, Yamazaki T, Kamemori T, <u>Kousaka N</u> , Ota Y, Hayashi M, Maehama T, Inaba N: Profiling of proteins associated with cisplatin-resistance in ovarian cancer cells. Int J Gynecol Cancer 15:747-754, 2005			
3. Yamazaki T, Inaba F, Takada N, Furuno M, Kamemori T, <u>Kosaka N</u> , Ota Y, Fukasawa I, Inaba N: A study of abnormal cervical cytology in pregnant women. Arch Gynecol Obstet. Dec 14, 1-4, 2005			
和文			
1. 朱坤、深澤一雄、古野元子、稲葉不知之、山崎龍王、亀森哲、 <u>香坂信明</u> 、大島教子、太田順子、稲葉憲之：卵巣癌培養細胞株に対する小柴胡湯の増殖抑制作用、産婦人科漢方研究のあゆみ 21: 90-93			
2. 朱坤、深澤一雄、亀森哲、古野元子、稲葉不知之、山崎龍王、 <u>香坂信明</u> 、太田順子、稲葉憲之：卵巣癌培養細胞株に対する小柴胡湯の増殖抑制作用、Dokkyo Journal of Medical Sciences、31:175, 2004			
3. 藤ノ木 政勝、亀森 哲、深澤 一雄、古野 元子、山崎 龍王、稲葉 不知之、朱 坤、 <u>香坂 信明</u> 、太田 順子、稲葉 憲之：Surface-Enhanced Laser Desorption/Ionization (SELDI) プロテインチップシステムによる卵巣癌患者血清の解析、日本ヒトプロテオーム学会大会要旨集, Vol. 2004 : pp. 74			
4. 藤ノ木政勝、亀森哲、深澤一雄、古野元子、山崎龍王、稲葉不知之、朱坤、 <u>香坂信明</u> 、太田順子、稲葉憲之：プロテオミクスによる、がん研究の新戦略 SELDIプロテインチップシステムによる卵巣癌患者血清の解析、Cancer Science95: Suppl. 62, 2004			

【症例報告】

和文

1. 武田信彦, 山崎龍王, 古野元子, 稲葉不知之, 亀森哲, 香坂信明, 坂本尚徳, 大田順子, 深澤一雄, 渡辺博, 稲葉憲之: 妊婦における子宮頸部細胞診異常の検討, 栃木県産婦人科医報 31, 22-24, 2004
2. 川村江都子, 掛田充克, 菊地紀明, 沼尾利郎, 香坂信明, 深澤一雄, 稲葉憲之: Paclitaxelにより誘発された間質性肺炎の一例. 栃木県産婦人科医報 32 : 20-22
3. 北澤正文, 深澤一雄, 太田順子, 香坂信明, 野口崇夫, 稲葉憲之: 偶発的に発見された子宮内膜症に合併した Mesothelial hyperplasia の 1 例. エンドメトリオーシス研究会会誌 27 : 115-118, 2006
4. 北澤正文, 岡崎隆行, 野口崇夫, 三ツ矢和弘, 香坂信明, 深澤一雄, 稲葉憲之: 当科における腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術の経験. 栃木県産婦人科医報 33: 7-10, 2006

【総 説】

【そ の 他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	講師	西川 正能	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1993年4月～現在	日本産科婦人科学会員		
2000年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. <u>西川正能</u> 、大島教子、渡辺博、稲葉憲之：B型肝炎ウイルス母子感染の予防法の再検討：栃木県医学会会誌、Vol. 34			
2. 稲葉憲之、大島教子、 <u>西川正能</u> 、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、林田志峯、稲葉未知世、和田裕一、喜多恒和、外川正生、塚原優己、名取道也、牛島廣治、戸谷良造、五味淵秀人、尾崎由和、吉野直人、早川 智、田中憲一、熊 曙康：予防と対策「スクリーニング無くして対策無し」HIV MTCT：Prevention and Measures HIV Screening in Pregnant Women Is the First Step to Prevent HIV Mother - to - Child Transmission(MTCT)：The Journal of AIDS Reserch 9 6-10, 2007			
3. 渡辺 博、 <u>西川正能</u> 、根岸正実、稲葉憲之：[あなたの患者が妊娠したらー内科疾患患者の妊娠相談]：C型肝炎ウイルスキャリアの妊娠：JIM 18 238-240, 2008			
4. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、 <u>西川正能</u> 、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：わが教室における妊産婦の感染症管理 - とくにB型肝炎ウイルスの母子感染対策について - The management of infectious diseases at department of OBGY, facultitu of medicine, Dokkyo medical university with special reference to HBV mother-to-child transmission (MTCT) 産婦人科治療 97 509-516, 2008			
5. 稲葉憲之、大島教子、林田志峯、 <u>西川正能</u> 、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉未知世、根岸正実、多田和美、稲葉不知之、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、熊 曙康、高見澤裕吉：母体ウイルス感染と母乳哺育：産科と婦人科 76 62-66, 2008			
6. 稲葉憲之、大島教子、 <u>西川正能</u> 、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、林田志峯、稲葉未知世、和田裕一、喜多恒和、外川正生、塚原優己、名取道也、牛島廣治、戸谷良造、五味淵秀人、早川 智、尾崎由和、吉野直人、田中憲一、熊 曙康：周産期におけるHIV/エイズ、その現状と対策 - 厚生省研究班の成績とともに：臨床婦人科産科 63 151-55, 2009			

【症例報告】

和文

1. 久野達也、岡崎隆行、庄田亜紀子、多田和美、西川正能、大島教子、田所望、深澤一雄、渡辺博、稲葉憲之：、交通事故により胎盤破裂を来したDICを併発した一症例、栃木県産婦人科医報 31：28-30
2. 多田和美、根岸正実、保倉 宏、野口崇夫、西川正能、大島教子、星野恵子、田所 望、深澤一雄、渡辺 博、根本猛彦、六角 丘、窪田敬一、稲葉憲之：帝王切開後早期に絞扼性イレウスを発症した一症例、栃木県産婦人科医報 31：152-154, 2005
3. 岡崎友紀、渡辺博、池田綾子、保倉宏、岡崎隆行、庄田亜紀子、多田和美、西川正能、田所望、中元隆明、金子昇、稲葉憲之：Greenfield永久下大静脈フィルター留置後に妊娠出産した一症例、栃木県産婦人科医報 33：37-39, 2006
4. 林田志峯、稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博、高見澤裕吉：HBV母子感染予防対策の比較検討—厚生省方式、千葉大方式、獨協医大方式—：関東連合地方部会会誌 45 381-384, 2009

【総 説】

和文

1. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、高見澤裕吉：新生児に対する有効なHBワクチン接種法—HBV母子感染予防における出生時ワクチン接種法—、小児科 45：1548-1553
2. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、庄田亜紀子：B型・C型肝炎：産科と婦人科 第71巻 増刊号：51-55
3. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、池田綾子、白木和夫：肝炎ウイルス—とくにB、C型肝炎ウイルスの母子感染対策について—、産科と婦人科 8：980-985, 2005
4. 渡辺 博、西川正能、稲葉憲之：感染症合併妊娠1) ウイルス性肝炎、産科と婦人科 72：1537-1541
5. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、池田綾子、高見澤裕吉、白木和夫：周産期と肝炎ウイルス—特にB型、C型肝炎ウイルスについて—、日本医事新報 4273号：21-27, 2006
6. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、庄田亜紀子、岡崎隆行、根岸正実、深澤一雄、渡辺博：母子感染のスクリーニング 2) 肝炎ウイルス (HBV, HCV)、産婦人科の実際 55：1694-1700, 2006
7. 西川正能：周産期の感染症 その診断と対応「風疹」、栃木県産婦人科医報 32：193-195, 2006
8. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博：B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの母子感染とその対策：産婦人科治療 95 43-49, 2007
9. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、林田綾子、林田志峯、稲葉未知世、根岸正実、岡崎隆行、庄田亜紀子、稲葉不知之、多田和美、田所 望、渡辺 博、熊 曙康：B型肝炎、C型肝炎ウイルス—産科医の立場から—：周産期医学 37 1539-1543, 2007
10. 渡辺 博、西川正能、根岸正実、稲葉憲之：C型肝炎ウイルスキャリアの妊娠 JIM 18 238-240, 2008

【その他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
産科婦人科学	講師	林 正路	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1987年4月～現在	日本産科婦人科学会員		
1992年10月～現在	日本産科婦人科学会専門医		
2009年4月～現在	生殖医療専門医		
2009年5月～現在	婦人科腫瘍専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 林 正路、大石 曜、深澤一雄、渡辺 博、稲葉憲之：子宮留欠腫. 子宮疾患・子宮内膜症の臨床、日本臨床 2009 in press			
【原 著】			
欧文			
1. Busso D, Goldweic NM, <u>Hayashi M</u> , Kasahara M, Cuasnicu PS : Evidence for the involvement of testicular protein CRISP2 in mouse sperm-egg fusion. Biol Reprod; 76 : 701-708, 2007			
2. Todo Y, Okamoto K, <u>Hayashi M</u> , Mimobe S, Nomura E, Hareyama H, Takeda M, Ebina Y, Watari H, Sakuragi N : A validation study of a scoring system to estimate the risk of lymph node metastasis for patients with endometrial cancer for tailoring the indication of lymphadenectomy. Gynecol Oncol.; 104:623-628, 2007			
【症例報告】			
和文			
1. 三田村 卓、 <u>林 正路</u> 、石川聡司、早貸辰申、服部理史、川口 勲：超大量出血のあった穿通胎盤の1例. 帯広厚生病院医誌 8 : 77-81, 2005			
2. 石川聡司、 <u>林 正路</u> 、早貸辰申、川口 勲：血小板数が2000/mm ³ まで低下したITP合併妊娠の1症例. 帯広厚生病院医誌 9 : 116-120, 2006			
3. 稲葉不知之、稲葉憲之、林田和朗、林田綾子、林田志峯、久野達也、大石 曜、大島教子、 <u>林 正路</u> 、稲葉未知世、深澤一雄、渡辺 博：膀胱修復を必要とした癒着胎盤の2症例から学ぶ. 産科と婦人科 10 : 1319-1324, 2008			
4. <u>林 正路</u> 、田中聡子、稲葉不知之、北澤正文、深澤一雄、稲葉憲之：腹腔鏡によって卵巣腫瘍茎捻転の確定診断・治療がなされた、当初子宮瘤血腫と診断された原発性無月経の1症例. 日本産科婦人科内視鏡学会誌 2009 in press.			
【総 説】			
【そ の 他】			